

I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆審議会等の改選時における女性委員の推薦について、全課を対象に小牧市女性人材バンクの積極的な活用を促し、女性委員の登用について働きかけた。(令和2年4月,令和3年2月) 【審議会】 R2年度 31年度 30年度 29年度 (4月1日現在) 女性委員 171人 184人 190人 181人					
	1 政策・方針決定の場における男女共同参画の推進	総委員 648人 673人 678人 668人	基準値(H25)				
	①審議会等での男女共同参画の推進	女性委員比率 26.39% 27.34% 28.02% 27.10%	28.1(%)				
	具体的施策 各種審議会等に女性委員の積極的な登用を図り、女性がいらない委員会等を解消するとともに、女性の参画比率が2021年(平成33年)を目標年度に33%を達成できるよう努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R2実績			
		◆委員の改選時期となる4月及び2月に女性委員の登用を働きかけた。 ◆重複した委員の選出を解消する場合には、女性を登用することを個別に依頼した。 ◆登用率が下がった原因の1つに新しく発足した審議会での登用率が0%であったため、今後発足の審議会では、原則女性登用することを依頼した。		0		R3目標	R2
						最終目標値	R3
						33.0(%)	C・F
						33.0(%)	C・F
I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆各課からの審議会委員等の選任の依頼を受け、女性人材バンク登録者から推薦をしている。また、さまざまな分野において活躍している人材を女性人材バンクに登録するよう努めた。 令和2年度(令和3年3月31日現在)47人 令和2年度新規登録者 5人 令和2年4月1日現在女性人材バンク登録者内審議会委員 18人					
	1 政策・方針決定の場における男女共同参画の促進			基準値(H29)			
	②女性の人材の育成と能力開発			1(人)			
	具体的施策 市の各種審議会等に参画できる女性の人材の育成と発掘、幅広い分野への女性の社会参画を図るため、女性人材バンクの活用を促進し、多様な人材の確保に努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R2実績		
		◆女性人材バンクの登録者についても高齢化がいなめない。審議会によっては、世代交代を図るようなものもあり、登録者の若返りも必要である。 ◆令和2年度は重複して委員に選任されている場合は、ほかの登録者の選任を検討する等、女性の人材育成に努めた。 ◆女性バンクに登録されていない委員の登録を働きかける。		0		R3目標	R2
						5(人)	A
						5(人)	R3
						5(人)	A
I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	「自治会活動マニュアル」の大幅改訂(概ね5年毎に実施)に伴い、改めて自治会活動への積極的な女性の参加や役員への登用を啓発する。	◆区長へ選任・推薦を依頼している委員等における女性委員の数 ・交通委員 (市民安全課) 32名/129名 ・環境保全推進員(ごみ政策課) 22名/129名 ・保健連絡員 (保健センター) 227名/248名 ・民生・児童委員(福祉総務課) 118名/195名 ※保健連絡員の通常任期は3年であるが、地域の状況に応じて改選される ※民生・児童委員(委嘱期間:3年)は令和元年12月改選時の値				
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	R2年度 重点目標取組内容実績	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R3年度 重点目標取組内容		
	①地域活動等における男女共同参画の促進	区長対象のアンケートを令和2年12月に実施し、女性の参画状況の調査を実施した。 【女性参画状況】 区長:4/129区 副区長:32/129区 会計:40/129区 調整員(組長等):82/129区 ※区長以外の数字は、女性が1人以上参加した区。家族が参加した場合もカウントしている。	区長アンケートを行い、女性の参画情報について基本となる数字を把握した。ただし、区は通常世帯が構成単位となっており、会合等に家族として女性が参加するなどのケースがあることから、区としての方針決定の場での女性参画について具体的な根拠の数字となるかは難しいところである。		新区長選任と併せて、自治会(区)役員における女性登用状況を調査する。		
	具体的施策 地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性の役員登用を積極的に行うよう働きかけます。				区の中で女性参画の意識が高い区をピックアップし、活動内容や取組みについて聞き取りなどの調査を行う。		
						自治会(区)役員における女性登用状況を調査したところ、男女を問わず、役員自体を確保することが難しい現状であった。そのため、具体的な数値目標を設定することが難しい状況にあるが、女性登用率向上のための働きかけを検討し、区に働きかけていく。	男女共同参画の視点
							R2
							B・F
							R3
							B・F

基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	2	①地域活動等における男女共同参画の促進	◆学びあいやふれあいの活動を通じたささえあいの地域づくりを推進し、市内47地区で活動が行われた。各区の役員738名のうち、282名の女性役員が活動した。	地域3あい事業:11,400		◆地域の学習活動を支援し、学びあいやふれあいの活動を通じた地域づくりを推進する。			
基本目標	施策の方向		R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)	R3年度 実施予定事業		基準値	男女共同参画の視点
	地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進		令和2年度は約38%の女性役員に地域活動に携わってもらうことができた。引き続き男女が参加しやすい環境づくりに努める。		地域3あい事業:2,926	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施する。 ◆男女共同参画講座を通じ加入団体とする。(防災・起業・男性家事) ◆多世代交流プラザでの活動団体に声をかけ加入団体を増やす。 ◆市民活動祭とともに男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつりを9月に開催し、市内活動団体にウィメンズネットこまきの活動を知ってもらい、地域活動等における男女共同参画を促進する。		R2実績	
基本目標	①地域活動等における男女共同参画の促進		R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業		R3目標	R2
	地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性の役員登用を積極的に行うよう働きかけます。		◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施した。 ・男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつり(113人、223人参加) ・先進地視察研修会(ウィメンズネットこまき27人参加・国立女性会館フォーラム(オンライン)傷ついている誰かを取り残さない～ジェンダーに基づく暴力(GBV)とたたかう現場からの提言～) ・グループ企画研修会(1回開催42人参加) ・ウィメンズネットこまき研修会(1回開催 36人参加・国立女性会館フォーラム(オンライン)私たちはジェンダー平等をどこまで達成できたか?～世界からみたニッポン～) ・情報誌Windの発行(1回発行) ※普及員項目についてはⅢ-1-①へ移動		女性活動推進事業: 2,822	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施する。 ◆男女共同参画講座を通じ加入団体とする。(防災・起業・男性家事) ◆多世代交流プラザでの活動団体に声をかけ加入団体を増やす。 ◆市民活動祭とともに男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつりを9月に開催し、市内活動団体にウィメンズネットこまきの活動を知ってもらい、地域活動等における男女共同参画を促進する。		最終目標値	R3
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	2	①地域活動等における男女共同参画の促進	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施した。 ・男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつり(113人、223人参加) ・先進地視察研修会(ウィメンズネットこまき27人参加・国立女性会館フォーラム(オンライン)傷ついている誰かを取り残さない～ジェンダーに基づく暴力(GBV)とたたかう現場からの提言～) ・グループ企画研修会(1回開催42人参加) ・ウィメンズネットこまき研修会(1回開催 36人参加・国立女性会館フォーラム(オンライン)私たちはジェンダー平等をどこまで達成できたか?～世界からみたニッポン～) ・情報誌Windの発行(1回発行) ※普及員項目についてはⅢ-1-①へ移動		女性活動推進事業: 2,822	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施する。 ◆男女共同参画講座を通じ加入団体とする。(防災・起業・男性家事) ◆多世代交流プラザでの活動団体に声をかけ加入団体を増やす。 ◆市民活動祭とともに男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつりを9月に開催し、市内活動団体にウィメンズネットこまきの活動を知ってもらい、地域活動等における男女共同参画を促進する。		ウィメンズネットこまきの加入団体数	多世代交流プラザ
基本目標	施策の方向		R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)	R3年度 実施予定事業		基準値(H25)	男女共同参画の視点
	地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進		◆団体構成員の高齢化に伴い、活動が停滞する団体があり、加入団体は減少すると考えられる。 ◆加入しやすいように会議の仕方に新しい型を導入した。 ◆男女共同参画講座を通じサークル成立を行った。令和3年度は団体加入できるよう育成をする。		女性活動推進事業: 3,154	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施する。 ◆男女共同参画講座を通じ加入団体とする。(防災・起業・男性家事) ◆多世代交流プラザでの活動団体に声をかけ加入団体を増やす。 ◆市民活動祭とともに男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつりを9月に開催し、市内活動団体にウィメンズネットこまきの活動を知ってもらい、地域活動等における男女共同参画を促進する。		14(団体)	
基本目標	①地域活動等における男女共同参画の促進		R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業		R2実績	R2
	地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性の役員登用を積極的に行うよう働きかけます。		◆団体構成員の高齢化に伴い、活動が停滞する団体があり、加入団体は減少すると考えられる。 ◆加入しやすいように会議の仕方に新しい型を導入した。 ◆男女共同参画講座を通じサークル成立を行った。令和3年度は団体加入できるよう育成をする。		女性活動推進事業: 3,154	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施する。 ◆男女共同参画講座を通じ加入団体とする。(防災・起業・男性家事) ◆多世代交流プラザでの活動団体に声をかけ加入団体を増やす。 ◆市民活動祭とともに男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつりを9月に開催し、市内活動団体にウィメンズネットこまきの活動を知ってもらい、地域活動等における男女共同参画を促進する。		11	E
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	2	②団体・グループ活動における男女共同参画の促進	◆地域のボランティアの強化・育成・ネットワーク拡充 ・ボランティア連絡会→コロナの影響により中止 ・ボランティア勉強会(3回、参加者183名) ・ジュニア奉仕団活動→募金活動(校内)、清掃活動(校区内)愛のレター書きに加え、新たに一人暮らし高齢者へのレター書きを実施 ・ココボラ活動件数3件 ・災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練→コロナの影響により中止 ◆福祉教育活動の推進 ・福祉実践教室の開催(参加者:6小学校、児童507人、ボラ92人)高齢者疑似体験、手話など ・中高生福祉体験学習→コロナの影響により中止		ボランティア活動等助成事業 10,575千円	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種行事の実施方法について検討し、ボランティア活動の継続を支援する。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。		—	福祉総務課
基本目標	施策の方向		R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)	R3年度 実施予定事業		基準値	男女共同参画の視点
	地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進		コロナの影響により中止となった事業も少なくないが、一人暮らし高齢者へのレター書きを新たに実施するなどの工夫を行った。引き続き、コロナ禍、アフターコロナにおけるボランティア活動の方法について検討する必要がある。		ボランティア活動等助成事業 10,560千円	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種行事の実施方法について検討し、ボランティア活動の継続を支援する。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。		—	
基本目標	②団体・グループ活動における男女共同参画の促進		R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業		R2実績	R2
	子どもから高齢者まで、男女がともにボランティア活動等の地域活動に参加できる環境づくりに努めます。		コロナの影響により中止となった事業も少なくないが、一人暮らし高齢者へのレター書きを新たに実施するなどの工夫を行った。引き続き、コロナ禍、アフターコロナにおけるボランティア活動の方法について検討する必要がある。		ボランティア活動等助成事業 10,560千円	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種行事の実施方法について検討し、ボランティア活動の継続を支援する。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。		—	B
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	2	②団体・グループ活動における男女共同参画の促進	◆地域のボランティアの強化・育成・ネットワーク拡充 ・ボランティア連絡会→コロナの影響により中止 ・ボランティア勉強会(3回、参加者183名) ・ジュニア奉仕団活動→募金活動(校内)、清掃活動(校区内)愛のレター書きに加え、新たに一人暮らし高齢者へのレター書きを実施 ・ココボラ活動件数3件 ・災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練→コロナの影響により中止 ◆福祉教育活動の推進 ・福祉実践教室の開催(参加者:6小学校、児童507人、ボラ92人)高齢者疑似体験、手話など ・中高生福祉体験学習→コロナの影響により中止		ボランティア活動等助成事業 10,575千円	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種行事の実施方法について検討し、ボランティア活動の継続を支援する。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。		—	福祉総務課
基本目標	施策の方向		R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)	R3年度 実施予定事業		基準値	男女共同参画の視点
	地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進		コロナの影響により中止となった事業も少なくないが、一人暮らし高齢者へのレター書きを新たに実施するなどの工夫を行った。引き続き、コロナ禍、アフターコロナにおけるボランティア活動の方法について検討する必要がある。		ボランティア活動等助成事業 10,560千円	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種行事の実施方法について検討し、ボランティア活動の継続を支援する。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。		—	
基本目標	②団体・グループ活動における男女共同参画の促進		R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業		R2実績	R2
	子どもから高齢者まで、男女がともにボランティア活動等の地域活動に参加できる環境づくりに努めます。		コロナの影響により中止となった事業も少なくないが、一人暮らし高齢者へのレター書きを新たに実施するなどの工夫を行った。引き続き、コロナ禍、アフターコロナにおけるボランティア活動の方法について検討する必要がある。		ボランティア活動等助成事業 10,560千円	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種行事の実施方法について検討し、ボランティア活動の継続を支援する。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。		—	B

基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	2	具体的施策	実績	R2年度実績評価・R3年度の課題等		地域3あい事業:11,400	地域3あい事業:2,926		
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度 重点目標取組内容		事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	2	具体的施策	実績	その他 R2年度事業実績		予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容		
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度 重点目標取組内容		事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	2	具体的施策	実績	その他 R2年度事業実績		予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容		
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度 重点目標取組内容		事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	2	具体的施策	実績	その他 R2年度事業実績		予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容		
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度 重点目標取組内容		事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	2	具体的施策	実績	その他 R2年度事業実績		予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容		

I あらゆる分野への男女共同参画の促進		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課	
基本目標	2	地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	未派遣地区のクラブ員を女性消防クラブ指導者科に入校してもらうよう働きかける。 R2年度 重点目標取組内容実績 愛知県消防学校女性消防クラブ指導者科が新型コロナウイルス感染症のため中止となった。	婦人消防クラブ活動事業 ・大型店舗での防火応報の実施 11月7日(土)3名 ・普通救命講習会の実施 11月26日(木)10名、11月27日(金)12名 11月28日(土)9名、11月29日(日)6名	災害時、女性が活動できる知識・技術の習得及び他クラブとの情報交換を行うため、婦人消防クラブ員を年間2名から9名に増員して女性消防クラブ指導者科に派遣する。 R3年度 重点目標取組内容 派遣クラブ員の増員に関し検討する。	女性消防クラブ指導者科入校 基準値(H25) 2(人)	予防課	
	③防災等の場における男女共同参画の推進	R2年度実績評価・R3年度の課題等 令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となった。 令和3年度は9名を派遣することができるように未派遣地区のクラブ員に参加を働きかけていく。		少年・婦人消防クラブ活動事業：1146 R3年度 実施予定事業 愛知県消防学校女性消防クラブ指導者科への1日入校 9月24日(金)9名	R2実績 0 R3目標 9 最終目標値 9(人)	男女共同参画の視点 R2 A R3 A		
	具体的施策	地域での自助、共助能力向上と防災意識の高揚を図るため、男女共同参画の視点にたった事業の継続、発展に努めます。		決算(R2見込) 少年・婦人消防クラブ活動事業：932				
基本目標	1	働く場における男女平等の促進	R2年度事業実績 ◆女性活躍推進事業認定マーク「えるぼし」に関するチラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ホームページにて男女雇用機会均等法の周知に努めた。 ◆女性活躍推進法のチラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆厚生労働省の労働条件相談窓口「ほっとライン」のチラシ、ポスターを商工振興課窓口にて配布、設置した。 R2年度実績評価・R3年度の課題等 より多くの事業者等に周知できるようポスターの掲示やチラシの配布、ホームページ等により周知を図る。	◆R2年度から拡充されたえるぼし認定(プラチナえるぼし)などについて、引き続き資料の配布を行い制度の周知を行う。	数値目標 — 基準値 — R2実績 — R3目標 — 最終目標値 —	商工振興課		
	①男女の均等な雇用機会と待遇の確保	男女雇用機会均等法、労働基準法等の趣旨の周知を図り、適切な運用を働きかけ、募集、採用、賃金、昇進等における男女平等の実現をめざします。		決算(R2見込) 0	男女共同参画講座開催事業：4,405 男女共同参画推進事業：11,299		男女共同参画の視点 R2 F R3 F	
	具体的施策	男女雇用機会均等法、労働基準法等の趣旨の周知を図り、適切な運用を働きかけ、募集、採用、賃金、昇進等における男女平等の実現をめざします。		決算(R2見込) 0				
基本目標	1	働く場における男女平等の促進	R2年度事業実績 ◆経営者、人事担当者、管理職、一般社員を対象に、アンガーマネジメントに対する理解や知識を深めることにより、健全な職場の環境づくりを目指すための講座を開催した。 ○企業啓発講座 ・自分のイライラと上手につき合うアンガーマネジメント講座(1回 49人受講) R2年度実績評価・R3年度の課題等 ◆企業に対し、講座の案内を行い、適切な運用を働きかけた。 ・小牧市商工会議所情報誌チラシ挿入(ファミリーフレンドリー企業についても裏面に折り込み)3,600枚 ◆企業啓発講座を業務時間外に開催した。 ◆他市講座を見学するなど、効果ある講座開講に努めた。 ◆フェイスブックでの啓発(6月は毎日更新するなど新たな啓発に取り組んだ) ◆平日業務時間外・日曜日の開催とする。◆講座開催チラシの裏面へ啓発印刷する。	◆企業啓発講座3講座 ・ワーク・ライフ・バランス講座 ・ストレスマネジメント講座 ・時短デスク整理講座 ◆市内企業あて、啓発チラシ作成配布	数値目標 — 基準値 — R2実績 — R3目標 — 最終目標値 —	多世代交流プラザ		
	①男女の均等な雇用機会と待遇の確保	男女雇用機会均等法、労働基準法等の趣旨の周知を図り、適切な運用を働きかけ、募集、採用、賃金、昇進等における男女平等の実現をめざします。		男女共同参画講座開催事業：4,405 男女共同参画推進事業：14,925	男女共同参画の視点 R2 E R3 E			
	具体的施策	男女雇用機会均等法、労働基準法等の趣旨の周知を図り、適切な運用を働きかけ、募集、採用、賃金、昇進等における男女平等の実現をめざします。		決算(R2見込) 14,925				

II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	R2年度 重点目標取組内容実績 ハラスメント相談窓口について、より実効的で相談しやすい体制とすべく、ハラスメント根絶等推進特別チームを設置し改善策の検討を進めた。試行実施していた朝型勤務制度と夕方勤務制度について、時差出勤制度として本格実施した。テレワークを実施した。	職員研修事業 200	R3年度 重点目標取組内容 「(仮称)第2期小牧市 女性活躍推進のための特定事業主行動計画」計画期間の開始	課長職以上の女性の割合(一般事務職)	人事課
	1 働く場における男女平等の促進						
	②市職員の男女平等の推進						
	具体的施策 能力主義のもと、採用や昇任、昇格等における男女平等を推進します。また、男女ともに幅広い分野の職務を経験させ、管理職にふさわしい人材の育成に努めます。						
予算(R3)	R2実績	男女共同参画の視点					
決算(R2見込)	R3目標	R2					
職員研修事業 0	最終目標値	A					
0	10(%)	A					
II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	R2年度 重点目標取組内容実績 愛知県と共同で開催した労働講座においてテーマを「事業主に求められるハラスメント防止対策」「同一労働同一賃金への注意すべきことについて」とし、実例や裁判例も踏まえながら周知を図った。	0	R3年度 重点目標取組内容 愛知県と共同で開催している労働講座において、労働分野における関連法をテーマの一つとして取り扱い、周知を図る。	労働講座受講者数	商工振興課
	1 働く場における男女平等の促進						
	③男女が働きやすい環境づくり						
	具体的施策 パートタイマーや派遣労働者の就労条件向上のため、パートタイム労働法や労働者派遣法等の周知を図り、多様な形で就労できる環境づくりに努めます。						
予算(R3)	R2実績	男女共同参画の視点					
0	R3目標	R2					
0	最終目標値	F					
0	45(名)	F					
II 男女が働きやすい環境の実現		その他 R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績		男女共同参画講座開催事業: 4,405 男女共同参画推進事業: 11,299	◆市内企業、市民に対して啓発チラシ・A1パネル作成	—	多世代交流プラザ
	1 働く場における男女平等の促進						
	③男女が働きやすい環境づくり						
	具体的施策 パートタイマーや派遣労働者の就労条件向上のため、パートタイム労働法や労働者派遣法等の周知を図り、多様な形で就労できる環境づくりに努めます。						
予算(R3)	R2実績	男女共同参画の視点					
男女共同参画講座開催事業: 4,405 男女共同参画推進事業: 14,925	—	R3目標	R2				
—	—	最終目標値	R3				
—	—	—	E				

基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度 重点目標取組内容		事業費 (千円) 予算(R3)	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	1	働く場における男女平等の促進	◆創業の手引きや創業支援施設の案内チラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆創業支援セミナーを開催した。(受講者15人、うち女性10人) ◆起業・会社設立支援補助金(32件申請、うち女性6件) ◆創業支援利子補給補助金(32件申請、うち女性8件)			◆引き続き、資料の配布を通じて周知を行う。 ◆引き続き、セミナー及び補助金により起業を支援する。			
基本目標	施策の方向		R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業		基準値	男女共同参画の視点
	1	働く場における男女平等の促進	◆今後も引き続き、多くの方にセミナー及び補助金を活用していただけるよう周知に努めていく。		0	◆引き続き、資料の配布を通じて周知を行う。 ◆引き続き、セミナー及び補助金により起業を支援する。		—	
	④起業家・自営業者に対する支援							—	
	具体的施策 自営業等で働く女性が、仕事と家事との区別なく働き続けることがないように、労働条件や待遇等の明確化を図るため、関係法令の周知等に努めます。また、起業に役立つ情報を提供し、起業に関する支援を行います。							—	
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費 (千円) 予算(R3)	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	1	働く場における男女平等の促進	◆女性が起業する具体的なイメージを伝えるため、身近なロールモデルである市内女性起業家を講師とし、やりたいことやアイデアを引き出すための学習機会とした。 ・3日で学ぶ穂満式成功術 起業女子の第一歩～なりたい自分になる！！～ ◆起業したい女性たちが互いに支え合い、向上するサークルを結成することができた。 ◆活動がより活発になる様、同じ講座を開催し支援を行い、ウィメンズネットこまき加入を促して活躍の場を設ける。			男女共同参画講座開催事業：4,405	◆就労支援講座 ・3日で学ぶ穂満式成功術 起業女子の第一歩～なりたい自分になる！！～ 開催する。 ◆起業したい女性たちが互いに支え合い、向上するサークルを支援し、ウィメンズネットこまき加入を促し活躍の場を設ける。		
	④起業家・自営業者に対する支援							基準値	
	具体的施策 自営業等で働く女性が、仕事と家事との区別なく働き続けることがないように、労働条件や待遇等の明確化を図るため、関係法令の周知等に努めます。また、起業に役立つ情報を提供し、起業に関する支援を行います。							—	
R2年度実績評価・R3年度の課題等		◆起業したい女性たちが互いに支え合い、向上するサークルを結成することができた。 ◆活動がより活発になる様、同じ講座を開催し支援を行い、ウィメンズネットこまき加入を促して活躍の場を設ける。		男女共同参画講座開催事業：4,405			—		
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費 (千円) 予算(R3)	R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	1	働く場における男女平等の促進	◆「あいち子育て女性再就職サポートセンター」チラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ハローワーク春日井でのマザーズコーナーについて市HPでの掲載を継続して実施した。 ◆愛知県労働協会が実施しているママジョブあいちのチラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆「女性の活躍・両立支援総合サイト」紹介のチラシを商工振興課窓口にて配布した。			0	◆引き続き資料の配布及びHP掲載を通じて周知を行う。		
	⑤育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援							基準値(H22)	
	具体的施策 働きたい女性への子育て支援や経済的支援策の情報の提供、結婚や出産等で退職した女性が再就職を希望するにあたり、就労支援策等に関する情報提供を行います。							65.8(%)	
R2年度実績評価・R3年度の課題等		チラシの配布、ポスターの掲示、HP掲載により周知を図れた。今後も引き続き周知を図っていく必要がある。		決算(R2見込)			H27国勢調査		
							67.9(%)	男女共同参画の視点	
							—	R2	
							66.0(%)	F	
							—	R3	
							66.0(%)	F	

II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆各施設や施設、市内病院などで子育て世代包括センター、子育て支援室のリーフレットを配布するなど、子育て支援に関する情報について周知を図った。 ◆市広報に子育て講座や催しを随時掲載した。 ◆基本型利用者支援事業 相談件数: 251件 ◆子育て支援室来所人数:47,506 人 相談件数: 951件					
	1 働く場における男女平等の促進	◆幼稚園、保育園の情報提供や就園相談を中心としたイベント「子育て☆知って楽しい情報Week！」を開催した。 8月17日(月)～8月30日(日) 来場者 延べ1204名		0			
	具体的施策	⑤育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援 働きたい女性への子育て支援や経済的支援策の情報の提供、結婚や出産等で退職した女性が再就職を希望するにあたり、就労支援策等に関する情報提供を行います。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 子育て世代包括支援センターや各児童館の子育て支援室において、子育て支援講座や催しを実施し、多くの方に参加してもらった。また、子育て支援についての情報を発信し、働きたい女性が再就職を考えられるように支援をする。		決算(R2見込)	0	—
						R2実績	
						R3目標	R2
						最終目標値	B・F
						—	R3
						—	B・F
II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆女性の再就職支援のため、愛知県主催/ママ・ジョブ・あいち 女性働き手創出支援事業で講座・相談を実施した。 ・ママたちの井戸端会議In小牧市 (全1回 4人受講)					
	1 働く場における男女平等の促進	◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆母子医療受給者証手続き案内へチラシを折り込んだ。 ◆ママ・ジョブ・あいちの出張相談は商工振興課と協働し市役所で開催した。市役所開催を引き続き行い、まなび創造館ではイベント時に重ねて行う。		男女共同参画講座開催事業: 4,405	基準値(H25)	2(講座)	
	具体的施策	⑤育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援 働きたい女性への子育て支援や経済的支援策の情報の提供、結婚や出産等で退職した女性が再就職を希望するにあたり、就労支援策等に関する情報提供を行います。	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	男女共同参画講座開催事業: 4,405	R2実績
						R3目標	R2
						最終目標値	C
						2(講座)	R3
						—	C
II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆ワーク・ライフ・バランス啓発冊子・リーフレットを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンのポスター掲示による周知に努めた。 ◆小牧市HPにて仕事と生活の調和推進(ワーク・ライフ・バランス)のHPを紹介、周知に努めた。					
	2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現	◆ワーク・ライフ・バランスの普及と理解の促進		0			
	具体的施策	①ワーク・ライフ・バランスの普及と理解の促進 関係機関と協力して、ワーク・ライフ・バランス実現への取り組みや両立支援策等に関して、男女平等推進情報誌等を通して情報提供を行います。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 チラシの配布、ポスターの掲示、HP掲載により周知を図れた。今後も引き続き周知を図っていく必要がある。		決算(R2見込)	0	—
						R2実績	
						R3目標	R2
						最終目標値	F
						—	R3
						—	F

II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	◆女性の社会的地位の向上及び社会参画の促進を市民の方々に理解を促すため、男女共同参画情報誌「かすたねっと」を発行した。 ・「みんなで家庭に笑顔の花を咲かせましょう」(ワーク・ライフ・バランス(理想と現状の優先度)) 市内全戸配布 1,000部市内外施設配布 ・「家事ギャップ」「ポジティブ・アクション」の用語を紹介した。		事業費 (千円)	◆開催講座チラシの配布や「かすたねっと」への掲載など引き続き、関係機関・団体との協力を通じて、情報提供を行う。	—	多世代交流プラザ
	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現		予算(R3)	男女共同 参画推進 事業: 11,299	基準値		—	
	①ワーク・ライフ・バランスの普及と 理解の促進		決算(R2見込)	—	R2実績		男女共同参画 の視点	
	具体的施策 関係機関と協力して、ワーク・ライフ・バラン ス実現への取り組みや両立支援策等に関 して、男女平等推進情報誌等を通して情 報提供を行います。		R2年度実績評価・R3年度の課題等	男女共同 参画推進 事業: 14,925	R3目標		R2 A	
						最終目標値	R3 A	
II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	◆ファミリーフレンドリー企業の登録制度に関する周知活動(市HP掲載)を継続して行った。 ◆「あいち仕事と生活の調和行动計画」を商工振興課窓口にて配布した。		事業費 (千円)	◆引き続き資料の配布を通じて周知を行う。	—	商工振興課
	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現		予算(R3)	0	基準値		—	
	②事業所等への啓発と 取り組みに対する支援		決算(R2見込)	—	R2実績		男女共同参画 の視点	
	具体的施策 仕事と家庭の両立を支援しているファミリー フレンドリー企業の顕彰や、男女共同参画 に関する企業の取り組み状況等の調査及 び、その情報提供等を通じて、企業の取 組みを促します。		R2年度実績評価・R3年度の課題等	0	R3目標		R2 F	
						最終目標値	R3 F	
II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	◆企業に対し、講座の案内を行い、啓発を行った。 ・小牧市商工会議所情報誌チラシ挿入(ファミリーフレンドリー企業についても裏面に折り込み)3,600枚 ◆次期計画策定に向けた第3次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅢ分析評価のためのアンケート調査を行った。(事業所300件)		事業費 (千円)	◆引き続き、関係機関・団体との協力を通じて、情報提供を行う。 ◆ファミリーフレンドリー企業についての紹介・啓発チラシ・A1パネル作成 ◆企業啓発講座3講座 ・ワーク・ライフ・バランス講座 ・ストレスマネジメント講座 ・デスク整理講座 ◆企業啓発講座に限らず、時事 ニュース講座など男女共同参画 講座・講演会の情報提供を行う。	—	多世代交流プラザ
	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現		予算(R3)	男女共同 参画推進 事業: 11,299	基準値		—	
	②事業所等への啓発と 取り組みに対する支援		決算(R2見込)	—	R2実績		男女共同参画 の視点	
	具体的施策 仕事と家庭の両立を支援しているファミリー フレンドリー企業の顕彰や、男女共同参画 に関する企業の取り組み状況等の調査及 び、その情報提供等を通じて、企業の取 組みを促します。		R2年度実績評価・R3年度の課題等	男女共同 参画推進 事業: 14,925	R3目標		R2 C・E	
						最終目標値	R3 C・E	

基本目標		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業 ◆親子で参加できる自然体験活動事業を実施する。 「身近な自然観察」 「大山川の自然観察」 「ハイキング」 「兒の森クイズラリー」	数値目標	こども政策課
	2 施策の方向	◆こども自然体験活動事業 身近な自然観察 11月15日に開催。親子12組が参加。 ハイキング 11月28日に開催。親子5組が参加。		(千円)		—	
	具体的施策	③家庭における男女共同参画の推進	実績	予算(R3)		基準値	
	夫婦や親子での参加も含め、男性が参加しやすい学習機会やプログラムを充実させることで、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。	R2年度実績評価・R3年度の課題等		子ども自然体験活動事業：2,053千円	—	R2実績	男女共同参画の視点
		身近な自然観察は定員を超える応募があった。また、令和2年度は新規事業としてハイキングを実施した。令和3年度以降も引き続き親子で参加できる行事を計画していきたい。		決算(R2見込)	—	R3目標	R2
				子ども自然体験活動事業：915千円	—	最終目標値	R3
					—		B・F
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	2 施策の方向	◆男性向けに、家庭生活への参画を促すために、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 ・家事ってオモシロイ!!お父さんと一緒に学ぶ家事講座(①全2回 11組受講)(②全2回 11組受講) 「はばたけ未来へ」を配布解説し、啓発を行った。 ◆セカンドライフ(定年後の生活)を心豊かに暮らす男性たちを描いた映像作品から、男女共同参画社会について考えた。 ○男女共同参画講座 ・映画「おっさんずルネッサンス」トーク&上映会(全1回 146人受講) ◆男女共同参画週間に、こまき巡回バス内に「ワーク・ライフ・バランス」に関するポスターを掲示し、啓発を行った。		(千円)	R3年度 実施予定事業 ◆男性支援講座 ・父と子家事講座2期 ・男性料理講座2講座 ◆男女共同参画講座 ・映画で学ぶ男女共同参画 ◆中央図書館を利用し、図書・DVDを活用した学習機会の提供をする。 ◆地域で活躍したい男性たちのサークルを支援し、ウィメンズネットこまき加入を促し活躍の場を設ける。 ◆男女共同参画週間子ども映画鑑賞会 ◆男女共同参画週間において、R2年度同様、こまくるに啓発ポスターを掲示する。	—	多世代交流プラザ
	具体的施策	③家庭における男女共同参画の推進	実績	予算(R3)		基準値	
	夫婦や親子での参加も含め、男性が参加しやすい学習機会やプログラムを充実させることで、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。	R2年度実績評価・R3年度の課題等		男女共同参画講座開催事業：4,405 女性活動推進事業：11,299		—	
		◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆地域で活躍したい男性たちのサークルを結成することができた。 ◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。		決算(R2見込)	—	R3目標	R2
				男女共同参画講座開催事業：4,405 女性活動推進事業：14,925	—	最終目標値	R3
					—		C
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
	2 施策の方向	・介護支援専門員や介護サービス事業所の職員に対して研修を実施する。	◆介護サービス事業者の質の向上を図るために、介護支援専門員や介護サービス事業所の職員に対して、会場及びWEBにて研修を実施した。(3回、延べ66名参加) ◆市広報誌及び市ホームページへの掲載、ガイドブックやいきいきファイルの作成・配布、出前講座等により介護サービス等の情報提供を行った。	(千円)	介護サービスの質的向上・介護サービス提供事業者の支援を実施する。	子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実していると思う市民の割合	介護保険課
	具体的施策	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実	実績	予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容	基準値(H25)	
	育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要なときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。	R2年度 重点目標取組内容実績	サービス事業者振興事業等：10,872	介護サービスの周知、介護サービス事業者の質の向上を図るため提供事業者の支援を実施する。	46.4(%)	H29実績	
		◆介護支援専門員や介護サービス事業者の職員に対して、会場及びWEBにて研修を実施した。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	52.7(%)	R2
			◆R2年度はコロナ禍のため、介護展や介護相談員のサービス事業所派遣事業を中止した。R3年度は感染防止対策を行った上で、介護展・介護職員研修を実施する。介護サービス相談員の派遣は感染状況により実施を検討する。 ◆R2年度に第8次高齢者保健福祉計画を策定した。R3年度は計画に基づき介護基盤の整備を進める。	サービス事業者振興事業等：4,605	◆介護展の実施 ◆介護サービス相談員の事業所への派遣 ◆介護支援専門員や介護サービス事業者の職員に対して研修実施 ◆第8次高齢者保健福祉計画に基づく認知症対応型共同生活介護の整備	50(%)	F
						最終目標値	R3
						50(%)	F

基本目標	Ⅱ 男女が働きやすい環境の実現		実績			数値目標	所管課	
	施策の方向					介護支援専門員や介護サービス事業所の職員に対して研修を実施する	介護保険課	
	2	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現				基準値(H28)		
	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実					30(単位)		
基本目標	Ⅱ 男女が働きやすい環境の実現		実績	R2年度事業実績		R2実績	R2年度に、方針決裁をとり、実施回数の見直しを図った	
	施策の方向			◆市内16児童クラブ 登録児童数1,662名(令和3年3月31日) 支援員人数164名		事業費(千円)		R3年度 実施予定事業 ◆平日の開設時間を30分延長し午後7時までとする。併せて多子減免の新設を含め保護者負担金の見直しを行う。これらの制度変更に伴う事務処理についてクラブ間で共有し、意見交換しながら必要な改善を図る。
	2	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現		R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)		
	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実			キャリアアップ処遇改善事業の活用により所長・指導員の待遇改善を行った。令和3年度からの開設時間延長に向けて、詳細な制度設計や必要物品の購入などの準備を行った。		児童クラブ運営事業: 49,915千円		
具体的施策		育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要ときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。		児童クラブ運営事業: 37,878千円	数値目標	所管課		
基本目標	Ⅱ 男女が働きやすい環境の実現		実績	R2年度事業実績		数値目標	所管課	
	施策の方向			◆ファミリー・サポート・センター 1ヶ所(中央) 依頼会員200人、援助会員93人、両方会員4人 合計297人 ◆こども一時預かり 利用人数: 373人		放課後児童クラブの待機児童数	こども政策課	
	2	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現		R2年度実績評価・R3年度の課題等		基準値(H25)		
	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実			ファミリー・サポート・センターの援助会員数の高齢化等により、年々、登録会員が減っている状況である。今後の運営について検討する。こども一時預かりは4月から運用を変更し、利用者が増えた。引き続き、育児支援を目的に保護者に気軽に利用してもらえるように周知を続ける。		0(人)	男女共同参画の視点	
基本目標	Ⅱ 男女が働きやすい環境の実現		実績	R2年度事業実績		R2実績	R2 B・F	
	施策の方向			ファミリー・サポート・センター運営事業:1,031		0		R3 B・F
	2	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現		R2年度実績評価・R3年度の課題等		R3目標		
	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実			ファミリー・サポート・センターの援助会員数の高齢化等により、年々、登録会員が減っている状況である。今後の運営について検討する。こども一時預かりは4月から運用を変更し、利用者が増えた。引き続き、育児支援を目的に保護者に気軽に利用してもらえるように周知を続ける。		0(人)		
具体的施策		育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要ときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。		児童クラブ運営事業: 37,878千円	最終目標値			
基本目標	Ⅱ 男女が働きやすい環境の実現		実績	R2年度事業実績		最終目標値		
	施策の方向			ファミリー・サポート・センター運営事業:607		32単位		
	2	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現		R2年度実績評価・R3年度の課題等		9(単位)		
	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実			ファミリー・サポート・センターの援助会員数の高齢化等により、年々、登録会員が減っている状況である。今後の運営について検討する。こども一時預かりは4月から運用を変更し、利用者が増えた。引き続き、育児支援を目的に保護者に気軽に利用してもらえるように周知を続ける。		32単位		
具体的施策		育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要ときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。		児童クラブ運営事業: 49,915千円	最終目標値			

II 男女が働きやすい環境の実現		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	2	<b>施策の方向</b> 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現  ④仕事と育児・介護等との 両立支援策の充実  育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要なときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。	・多様な保育ニーズに対応するため、第一幼稚園において預かり保育を開始する。 ・今後の第一幼稚園のあり方について、既存の公立保育園の適正配置等に考慮しながら、認定こども園化を含め、総合的に検討を開始する。	・子育て世代包括支援センターが実施する子育て世代が知りたい情報をできるだけ分かり易く提供する場として、「子育て★知って楽しい！情報Week」というイベントに、第一幼稚園も参加・協力し、未就園児の保護者に対する積極的な情報発信につながった。 ・その他、第一幼稚園独自の取組として、園の良さや魅力を未就園児の保護者に伝えることができるような新たな機会の検討やホームページの見直し等を行った。	仕事と育児の両立を支援するため、保育を必要とする方が安心して子どもを預けることができるよう、十分な受け入れ数を確保します。	保育園の待機児童数 基準値(H24.4.1) 31(人)	幼児教育・保育課
		<b>実績</b> R2年度 重点目標取組内容実績 ・預かり保育の令和2年度実績は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用中止要請もあり、4月、5月は利用率が低かったものの、6月以降の預かり保育実施日は毎日利用されており、利用者は順調に伸びている。また、年度途中において10人の入園申込があり、預かり保育による一定の効果があつたものと考えられる。 ・今後の第一幼稚園のあり方については、子ども・子育て会議の部会として、保育経験者や私立幼稚園連合協議会代表者等により構成される「小牧市立第一幼稚園のあり方に関する検討部会」を設置し、3回にわたる検討部会での議論を経て、部会からの提言を報告書としてとりまとめた。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 ・今後の第一幼稚園のあり方の検討のうち、様々な課題がある中で、見直しが可能なものから随時、見直しを行うことで、第一幼稚園が提供する幼児教育・保育サービスの向上につなげていく。	事業費 (千円) 予算(R3) - 決算(R2見込) -	R3年度 重点目標取組内容 ・預かり保育を推進するとともに、保護者ニーズをふまえ、定員枠の拡充等について可能な限り柔軟に対応していく。 ・今後の第一幼稚園のあり方について、昨年度の検討結果をふまえ、引き続き、検討を進めていく。	R2実績 0(人)	男女共同参画の視点
		<b>具体的施策</b> 育兒や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要なときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 ・今後の第一幼稚園のあり方の検討のうち、様々な課題がある中で、見直しが可能なものから随時、見直しを行うことで、第一幼稚園が提供する幼児教育・保育サービスの向上につなげていく。	R3年度 実施予定事業 ・昨年度の実績等をふまえ、令和3年度からは1日あたりの定員を15名から20名に拡充することとした。今後も引き続き、可能な限り預かり保育を充実していく。 ・今後の第一幼稚園のあり方についての具体的な方針の検討を進めていく。	R3目標 0(人)	R2 B・F	
					最終目標値 0(人)	R3 B・F	
基本目標	1	<b>施策の方向</b> 男女共同参画意識の普及・啓発  ①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実  市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。	市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、各課からの情報提供をもとに、各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	広報こまきにおいて男女共同参画講座等の情報を掲載したほか、男女共同参画情報誌「かすたねっと」を広報こまきに折り込み印刷した。	広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	男女共同参画関連情報の掲載件数 基準値(H29) 38(件)	広報広聴課
		<b>実績</b> R2年度 重点目標取組内容実績 男女共同参画に関する情報を広報を中心に情報発信した。男女共同参画に関する内容の広報掲載件数:45件	R2年度実績評価・R3年度の課題等 広報を中心に、男女共同参画に関する情報を発信した。年間の広報への掲載件数を把握したが、その記事が男女共同参画に該当するかどうかの判断が難しい部分があるため、判断基準などを設ける等し件数の増加を図る。	事業費 (千円) 予算(R3) 0 決算(R2見込) 0	R3年度 重点目標取組内容 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、各課からの情報提供をもとに、各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	R2実績 45(件)	男女共同参画の視点
		<b>具体的施策</b> 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 広報を中心に、男女共同参画に関する情報を発信した。年間の広報への掲載件数を把握したが、その記事が男女共同参画に該当するかどうかの判断が難しい部分があるため、判断基準などを設ける等し件数の増加を図る。	R3年度 実施予定事業 各課からの希望に応じて、広報への掲載やSNSを活用して、様々な世代へ情報発信する。	R3目標 60(件)	R2 A・B	
					最終目標値 96(件)	R3 B	
基本目標	1	<b>施策の方向</b> 男女共同参画意識の普及・啓発  ①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実  市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。	啓発活動においては、周知活動・啓発活動を継続的に取り組む。	◆男女共同参画週間パネル展を開催した。(6月) ◆男女共同参画月間パネル展を開催した。(10月) ◆男女共同参画週間及び国際女性デーに、懸垂幕を掲示した。 ◆月替わりで団体交流室前A1パネルを掲示した。 ◆市ホームページ・フェイスブックを通じて、意識啓発に努めた。 ◆子ども未来館プレオープン時にアンケートを実施し、結果を「男女共同参画情報誌「かすたねっと」」にまとめた。 ◆子ども未来館オープン時に啓発ウェットティッシュ2,000個、啓発風船2,000個を「かすたねっと」とともに配布した。	「男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合」を60.0%にする。	男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合 基準値(H25) 45.8(%)	多世代交流プラザ
		<b>実績</b> R2年度 重点目標取組内容実績 ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」(全戸配布・広報こまき10月1日号、3月1日号 市内施設配布 各1,000部) ○第55号 みんなで家庭に笑顔の花を咲かせましょう ○第56号 今こそ男女共同参画社会を目指すとき	R2年度実績評価・R3年度の課題等 ◆男女共同参画情報誌の全戸配布や講演会・子ども未来館オープン等多くの市民が集まる機会に、男女共同参画に対する理解を促進するための広報・啓発を行った。 ◆広報・啓発活動は、対象とする年代を絞り、子ども未来館・中央図書館の集客施設を利用し活動する。	事業費 (千円) 予算(R3) 男女共同参画推進事業: 11,299 決算(R2見込) 男女共同参画推進事業: 14,925	R3年度 重点目標取組内容 講座事業を通して養成した人材を、地域社会等へ還元する方法を見出し、意識啓発を図る。	R2実績 54.1(%)	男女共同参画の視点
		<b>具体的施策</b> 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 ◆男女共同参画情報誌の全戸配布や講演会・子ども未来館オープン等多くの市民が集まる機会に、男女共同参画に対する理解を促進するための広報・啓発を行った。 ◆広報・啓発活動は、対象とする年代を絞り、子ども未来館・中央図書館の集客施設を利用し活動する。	R3年度 実施予定事業 ◆男女共同参画週間パネル展 ◆男女共同参画月間パネル展 ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」年1回発行 ◆図書・DVDを活用した学習会会の提供 ◆啓発風船2,000個配布 ◆広報10月1日号に特集を掲載	R3目標 60.0(%)	R2 A	
					最終目標値 60.0(%)	R3 A	

Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆次期計画策定に向けた第3次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅢ 分析評価のためのアンケート調査を行った。					
	1 男女共同参画意識の普及・啓発	調査対象数 市民(20歳代以上) 3,000件 事業所 300件 小学5年生 1,500件 中学2年生 1,550件 計 6,350件		予算(R3)	—		
	具体的施策	②男女共同参画に関する調査研究と情報収集・分析の強化	R2年度実績評価・R3年度の課題等		男女共同参画推進事業: 11,299	—	基準値
	男女共同参画に関する市民の意識を把握するため、実態調査を継続的に実施します。	◆年代別では30、40歳代の意識が低いため、多世代交流プラザへ来館する子育て世代に対し、男女共同参画の意識啓発を重点的に行った。		決算(R2見込)	—	R2実績	男女共同参画の視点
		◆第3次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅢ 分析評価のためアンケートを行った。令和3年度は結果をいかした計画策定を行う。		男女共同参画推進事業: 14,925	—	R3目標	R2
					—	最終目標値	R3
					—		E
基本目標	施策の方向	◆4か月児健診 44回: 961人 ◆1歳6か月児健診 36回: 1130人 ◆3歳児健診 36回: 1259人 ◆2歳3か月 歯科健診 20回(うち3回は午前・午後実施): 728人 ◆4か月児・1.6か月児、3歳児健診未受診者に対して、電話・訪問等で受診勧奨(4か月児健診は年間47回、1歳6か月児健診・3歳児健診は年間36回、2歳3か月児歯科健診は年間24回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月途中～5月は健診実施を見合わせた) ◆9.10か月児健診: 8回: 133人(4か月児健診中止した児を対象に実施)		事業費 (千円)	令和2年度と同様に乳幼児健診時の相談・指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育が実践できるよう支援します。	4か月児健診時自己肯定感健康教育実施	保健センター
	1 男女共同参画意識の普及・啓発	R2年度実績評価・R3年度の課題等					
	具体的施策	③家庭・学校・地域における男女平等教育の推進	R2年度実績評価・R3年度の課題等		母子保健健康診査事業 17,861	—	基準値(H25)
	乳幼児健診時の相談、指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育を実践できるよう支援します。性別にとらわれないこと、個性や能力に応じた進路選択ができるような進路指導の充実を図ります。	乳幼児健診の相談、指導の機会を通じて、親が自分自身を肯定でき、家庭において子どもの個性を尊重した教育が実践できるよう支援します。		決算(R2見込)	—	48(回)	男女共同参画の視点
					—	R2	—
					—	R3目標	R2
					—	最終目標値	R3
					—	44(回)	F
					—	44(回)	F
基本目標	施策の方向	本人(中学3年生1,321人)、保護者の希望・適正を第一に考えた進路指導を実施した。※中学3年生人数は令和2年5月1日現在。		事業費 (千円)	本人、保護者の希望・適正を第一に考えた進路指導を実施する。	—	学校教育課
	1 男女共同参画意識の普及・啓発	R2年度実績評価・R3年度の課題等					
	具体的施策	③家庭・学校・地域における男女平等教育の推進	R2年度実績評価・R3年度の課題等		0	—	基準値
	乳幼児健診時の相談、指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育を実践できるよう支援します。性別にとらわれないこと、個性や能力に応じた進路選択ができるような進路指導の充実を図ります。	本人、保護者の希望・適正を第一に考えた進路指導を実施した。		決算(R2見込)	—	R2実績	男女共同参画の視点
					—	R3目標	R2
					—	最終目標値	R3
					—		A
					—		A

基本目標		実績	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課			
基本目標	Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	実績	R2年度 重点目標取組内容	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課			
	施策の方向		R2年度 重点目標取組内容実績					その他 R2年度事業実績	予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容
	1 男女共同参画意識の普及・啓発		R2年度実績評価・R3年度の課題等					決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	R2実績
	③家庭・学校・地域における男女平等教育の推進		◆小学生対象に「はばたけ未来へ」を配布した。 ◆市内高校にデートDV手帳「私がわたしであるために」を印刷配布した。 ◆市内小学校5年生・中学校2年生全員に第3次小牧市男女共同参画基本計画 ハーモニーⅢ 分析評価のためアンケートを行った。 ◆こども未来館オープン時に啓発ウェットティッシュ2,000個、啓発風船2,000個を「かすたねっ」とともに配布した。	男女共同参画推進事業: 11,299 男女共同参画講座開催事業: 4,405	「男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合」を60.0%にする。	男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	多世代交流プラザ			
	乳幼児健診時の相談、指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育を実践できるよう支援します。性別にとらわれることなく、個性や能力に応じた進路選択ができるような進路指導の充実を図ります。		◆「はばたけ未来へ」の活用について、令和2年度はコロナ禍で利用が減った。令和3年度は利用してもらえるよう働きかけ、児童の男女共同参画への理解の促進を図っていく。 ◆中学校出張講座は令和3年度未実施のため、令和3年度に開催校を増加させる。	男女共同参画推進事業: 14,925 男女共同参画講座開催事業: 4,405	R3年度 重点目標取組内容 ◆「はばたけ未来へ」の活用を小学校全校利用 ◆市内中学校出張講座開催 ◆デートDV手帳配布 ◆啓発風船の2000個配布 ◆多世代交流プラザへ小学校行事にて来館した場合は啓発を行う。	基準値(H25) 45.8(%) R2実績 54.1(%) R3目標 60.0(%) 最終目標値 60.0(%)	男女共同参画の視点 R2 A・B R3			
基本目標	Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	実績	R2年度 重点目標取組内容	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課			
	施策の方向		R2年度 重点目標取組内容実績					その他 R2年度事業実績	予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容
	1 男女共同参画意識の普及・啓発		R2年度実績評価・R3年度の課題等					決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	R2実績
	③家庭・学校・地域における男女平等教育の推進		◆普及員活動において、モデル区を置くことで、活動の活性化や設置区数増加に繋げる。また、普及員未設置区積極的に出向き、活動事例の提示等を行うことで、区における普及員の必要性を理解していただき、設置を促す。	男女共同参画推進事業: 11,299 男女共同参画講座開催事業: 4,405	小牧市男女共同参画普及員設置区数を36区以上にする。	普及員設置区数	多世代交流プラザ			
	乳幼児健診時の相談、指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育を実践できるよう支援します。性別にとらわれることなく、個性や能力に応じた進路選択ができるような進路指導の充実を図ります。		◆区長会総会において普及員の活動について理解を求め、配置区を増加を依頼した。	男女共同参画推進事業: 14,925 男女共同参画講座開催事業: 4,405	R3年度 重点目標取組内容 ◆地域における意識啓発のために、男女共同参画普及員の積極的な配置を促す。 ◆普及員に対する講座、説明会、研修会を開催する。	基準値(H29) 31(区) R2実績 26(区) R3目標 50(区) 最終目標値 50(区)	男女共同参画の視点 R2 A・B R3 A・B			
基本目標	Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	実績	R2年度事業実績	事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課			
	施策の方向		R2年度実績評価・R3年度の課題等					予算(R3)		
	1 男女共同参画意識の普及・啓発		R2年度実績評価・R3年度の課題等					決算(R2見込)		
	④男女共同参画に関する学習機会の充実		◆市民企画講座においてLGBTについての理解を深める講座を開催し、男女共同参画意識の普及・啓発に努めた。また、出前講座のプログラムの一つに「男女共同参画社会の実現に向けて」を用意し、男女共同参画に関する学習機会を提供した。	一般事務事業: 6,304	◆引き続き、こまき市民文化財団への委託や出前講座において、学習機会の充実を図る。	—	文化・スポーツ課			
	生涯学習を通じて、男女共同参画について学習できるよう、学習機会や学習内容の充実を図ります。男女の参加意欲を高めるような参加体験型プログラムを取り入れる等、学習への参加を促します。		引き続き、分野によらず男女が分け隔てなく参画するよう啓発する。	一般事務事業: 5,761		基準値 — R2実績 — R3目標 — 最終目標値 —	男女共同参画の視点 R2 B・D・F R3 B・D・F			

Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課		
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容実績 啓発活動においては、周知活動・啓発活動を継続的に取り組む。  R2年度 重点目標取組内容実績 ◆男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者数 令和2年度実績 559人	R2年度実績評価・R3年度の課題等 ◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、事業を実施する。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。	事業費 (千円) 予算(R3) 男女共同参画推進事業: 11,299 男女共同参画講座開催事業: 4,405  決算(R2見込) 男女共同参画推進事業: 14,925 男女共同参画講座開催事業: 4,405	「男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合」を60.0%にする。	男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	多世代交流プラザ		
	1 男女共同参画意識の普及・啓発				R3年度 重点目標取組内容 多世代交流プラザへ来館する子育て世代に対し、男女共同参画の意識啓発を重点的に行う。	基準値(H25) 45.8(%)		R2実績 54.1(%)	男女共同参画の視点
	④男女共同参画に関する学習機会の充実 生涯学習を通じて、男女共同参画について学習できるよう、学習機会や学習内容の充実を図ります。 男女の参加意欲を高めるような参加体験型プログラムを取り入れる等、学習への参加を促します。				R3年度 実施予定事業 ◆引き続き、男女共同参画意識の改革につながる講座・講演会等を実施する。 ◆中央図書館を利用し、図書・DVDを活用した学習機会の提供をする。	R3目標 60.0(%)		最終目標値 60.0(%)	R2 A R3 A
基本目標	施策の方向	R2年度事業実績 ◆子育て世代包括支援センターの子育て支援室において、各講座で男性も育児に参加できるよう支援を図る。 ・子育て講座 タッチケア 利用者数 98件 ・パパ応援講座 イクメン講座 利用者数 78件		事業費 (千円) 予算(R3) 0	R3年度 実施予定事業 今年度もパパまたは家族で育児をすることの大切さや楽しさを感じられる講座を開催する。	数値目標 —	所管課 子育て世代包括支援センター		
	2 男性にとっての男女共同参画	R2年度実績評価・R3年度の課題等 子育て講座はママ中心の内容となりがちであるが、育児の楽しさや家族で子育てしていくことの大切さがパパに伝わるような内容となるよう考慮していく。		決算(R2見込) 0		基準値 —	男女共同参画の視点		
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進 夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。 参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。				R2実績 —	R3目標 なし	R3 C・F		
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容 昨年度は経過目標値には達したが、目標値(30%)には達していないため、取組を継続する	その他 R2年度事業実績 ◆新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発令され、企画していた24の講座の内、13が中止となった。開催した11の各種市民企画講座では、175人中24人(約14%)の男性が学習に参加した。	事業費 (千円) 予算(R3) 一般事務事業: 6,304	重点目標 男性も参加しやすい学習機会を充実させ、市公民館・中部公民館市民企画講座受講者数の内、男性の受講者数を全体の30%とする。	数値目標 市民企画講座の男性受講者率	所管課 文化・スポーツ課		
	2 男性にとっての男女共同参画	R2年度 重点目標取組内容実績 市民企画講座において男性が興味を持ちやすい歴史や園芸、健康などのテーマの他、親子リトミックや料理、整理整頓など、家庭生活への参画を促す内容を組み込むことで、家庭における男女共同参画意識の高揚を図った。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 今後も引き続き、講師採用の段階から男性の参加を促すような講座を考え、男性も受講しやすい環境づくりに努める。	決算(R2見込) こまき市民文化財団補助事業:5,761	R3年度 重点目標取組内容 前年度の取り組みを継続するとともに、市民企画講座において講師に対し、男性が受講しやすい講座企画を働きかける。	基準値(H27) 8.1(%)	男女共同参画の視点		
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進 夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。 参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。				R3年度 実施予定事業 ◆こまき市民文化財団に委託し、引き続き、学習機会の充実を図る。	R2実績 14(%)	R3目標 30(%)	最終目標値 30(%)	R2 A・B・F R3 A・B・F

Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課				
基本目標	施策の方向	◆男性向けに、家庭生活への参画を促すために、家事支援・料理講座をはじめ、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 ・家事ってオモシロイ!!お父さんと一緒に学ぶ家事講座①(全2回 11組受講)②(全2回 11組受講) ◆セカンドライフ(定年後の生活)を心豊かに暮らす男性たちを描いた映像作品から、男女共同参画社会について考えた。 ○男女共同参画講座 ・映画「おっさんズルネッサンス」トーク&上映会講座(全1回 146人受講)		(千円) 予算(R3) 男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 2,822	◆男性支援講座 ・父と子家事講座2期 ・男性料理講座2講座 ◆男女共同参画講座 ・映画で学ぶ男女共同参画 ◆中央図書館を利用し、図書・DVDを活用した学習機会の提供をする。 ◆地域で活躍したい男性たちのサークルを支援し、ウィメンズネットこまき加入を促し活躍の場を設ける。	固定的な性別役割分担に反対する(「どちらかといえば反対」を含む)男性の割合 基準値(H25) 26.8(%) R2実績 45.4% R3目標 30.0% 最終目標値 30.0(%)	多世代交流プラザ				
	2 男性にとっての男女共同参画							実績	男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 2,822	男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 3,154	男女共同参画の視点
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進							R2年度実績評価・R3年度の課題等	男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 3,154	R2 C R3 C	
夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。	◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。										
基本目標	施策の方向	◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。		男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 3,154	◆男性支援講座 ・父と子家事講座2期 ・男性料理講座2講座 ◆男女共同参画講座 ・映画で学ぶ男女共同参画 ◆中央図書館を利用し、図書・DVDを活用した学習機会の提供をする。 ◆地域で活躍したい男性たちのサークルを支援し、ウィメンズネットこまき加入を促し活躍の場を設ける。	男性を対象とした講座の開催 基準値(H25) 1(回) R2実績 1(回) R3目標 3(回) 最終目標値 2(回)	多世代交流プラザ				
	2 男性にとっての男女共同参画							実績	男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 3,154	男女共同参画の視点	
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進							R2年度実績評価・R3年度の課題等	男女共同参画講座開催事業: 4,405 女性活動推進事業: 3,154	R2 C R3 C	
夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。	◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。										
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課				
	( 2 2 ) 男性にとっての男女共同参画	市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	広報こまきにおいて男女共同参画講座等の情報を掲載したほか、男女共同参画情報誌「かすたねっ」とを広報こまきに折り込み印刷した。	(千円) 予算(R2) 0	広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	男女共同参画関連情報の掲載件数 基準値(H29) 38(件) R2実績 60(件) R3目標 96(件) 最終目標値 96(件)	広報広聴課				
	②(⑤)男性の抱える課題・問題への対応	R2年度 重点目標取組内容実績 男女共同参画に関する情報を広報を中心に情報発信した。 男女共同参画に関する内容の広報掲載件数: 45件	R2年度実績評価・R3年度の課題等 広報を中心に、男女共同参画に関する情報を発信した。年間の広報への掲載件数を把握したが、その記事が男女共同参画に該当するかどうかの判断が難しい部分があるため、判断基準などを設ける等し件数の増加を図る。	決算(R2見込) 0	R3年度 重点目標取組内容 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	R3年度 実施予定事業 各課からの希望に応じて、広報への掲載やSNSを活用して、様々な世代へ情報発信する。	男女共同参画の視点 R2 A・B R3 B				
男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。										

Ⅲ(Ⅱ)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		R2年度事業実績		R3年度 実施予定事業		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	—	商工振興課
	(2) 男性にとっての男女共同参画	◆ファミリーフレンドリー企業の登録制度に関する周知活動(市HP掲載)を継続して行った。 ◆「あいち仕事と生活の調和行动計画」を商工振興課窓口にて配布した。		(千円)			
	②(⑤)男性の抱える課題・問題への対応	R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)			
	具体的施策	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)			
	男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	チラシの配布、ポスターの掲示、HP掲載により周知を図れた。今後も引き続き周知を図っていく必要がある。		0		—	男女共同参画の視点
				0		—	R2
						—	D
						—	R3
						—	D
基本目標	施策の方向	R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	パパママ教室	保健センター
	(2) 男性にとっての男女共同参画	◆パパママ教室6回:154人 (男性75人、女性77人、その他2人) (年間6回奇数月の開催を予定していたが、5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせた。7月の参加希望者が定員を大きく上回ったため、8月に追加で実施した。)		(千円)			
	②(⑤)男性の抱える課題・問題への対応	R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)			
	具体的施策	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)			
	男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	教室を通して、夫婦がお互いのことを尊重し、協力して子育てに参加ができるよう支援します。		5		6(回)	男女共同参画の視点
				3		6(回)	R2
						6(回)	A
						6(回)	R3
						6(回)	A
基本目標	施策の方向	R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	親子健康手帳個別交付率	子育て世代包括支援センター
	(2) 男性にとっての男女共同参画	親子健康手帳交付時の健康相談数:1,071件 妊産婦及び新生児乳児訪問:479件 母乳相談数:106件 母子保健型利用者相談事業 相談件数:1,051件 市内巡回育児相談数:390件 アニバーサリー事業 相談件数:835件 イクメン応援講座 年6回/参加人数:78人		(千円)			
	②(⑤)男性の抱える課題・問題への対応	R2年度実績評価・R3年度の課題等		予算(R3)			
	具体的施策	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)			
	男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	子育て世代包括支援センターでの親子健康手帳交付時に保健師及び助産師による相談を全例(産前・産後問わず)に実施した。アニバーサリー事業を実施し、1歳の節目の時期に育児相談を実施し、利用率の向上を図ることができた。		母子保健利用者支援事業 7,089千円		92.7(%)	男女共同参画の視点
				母子保健利用者支援事業 6,649千円		100(%)	R2
						100(%)	F
						95(%)	R3
						95(%)	F

Ⅲ(Ⅱ)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向			(千円)	◆男性支援講座 ・父と子家事講座2期 ・男性料理講座2講座 ◆男女共同参画講座 ・映画で学ぶ男女共同参画 ◆地域で活躍したい男性たちのサークルを支援し、ウィメンズネットこまき加入を促し活躍の場を設ける。	—	多世代交流プラザ
	2 (2) 男性にとっての男女共同参画	◆男性向けに、家庭生活への参画を促すために、家事支援・料理講座をはじめ、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 ・家事ってオモシロイ!!お父さんと一緒に学ぶ家事講座①(全2回 11組受講)②(全2回 11組受講) ◆セカンドライフ(定年後の生活)を心豊かに暮らす男性たちを描いた映像作品から、男女共同参画社会について考えた。 ○男女共同参画講座 ・映画「おっさんズルネッサンス」トーク&上映会講座(全1回 146人受講)		予算(R3)		基準値	
	②(⑤)男性の抱える課題・問題への対応	R2年度実績評価・R3年度の課題等		男女共同参画講座開催事業: 4,405		—	
具体的施策	男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎日更新)など、SNSを有効活用した。 ◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆講座開催に頼らない学習機会やプログラムを充実させる検討を行う。		決算(R2見込)		R3目標	R2
				男女共同参画講座開催事業: 4,405		最終目標値	B
						—	B
基本目標	Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
	施策の方向	市内の高校全校(5校)に対して、男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」の充実と定着を図るために全5校と協議を行う。	◆生と性のカリキュラム推進 ・小学校性教育実施数:16校 ・中学校性教育実施数:6校 ・高校性教育実施数:1校	(千円)	市内の高校全校(5校)に、男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」の充実及び定着を図ります。	生と性のカリキュラムの実施(小学校・中学校+高校)	保健センター
	3 子どもにとっての男女共同参画	R2年度 重点目標取組内容実績		予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容	基準値(H25)	
①さまざまな教育の場における男女平等の促進	男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」の充実を図りました。	生と性の育み推進事業:379	生と性の育み推進事業:361	決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	25(校)	
具体的施策	男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる態度を育てる「性に関する指導」の充実を図ります。子育てへの関心や将来、親となる者としての意識の醸成を図ります。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	小学校においては感染対策をとったうえで実施。例年、公開日に合わせて実施していたが、クラス単位での実施に変更。そのため、保護者の参加を見合わせた。今後、保護者へのアプローチ方法について検討実施していきます。		各校の現状や要望に合わせて、男女がそれぞれ性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、将来、親となるものとして心の醸成を図ります。	R2実績	R2
						R3目標	A
						最終目標値	R3
						30(校)	F
基本目標	Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
	施策の方向	前年度の検証結果に基づき、「生と性のカリキュラムー改訂版ー」を、全小中学校で実施に向けた取り組みを行う。	平成26年度に作成した「生と性のカリキュラムー改訂版ー」に基づく授業実践を実施した。小中学校全校(小1~中3)において、生と性のカリキュラムにより各学年2時間計画されている。完全実施した学校は小学校10校、中学校3校。小学校5校、中学校5校が特定学年のみ完全実施した。	(千円)	生と性のカリキュラム(2時間)の完全実施。	生と性のカリキュラム(2時間)の完全実施校数	学校教育課
	3 子どもにとっての男女共同参画	R2年度 重点目標取組内容実績		予算(R3)	R3年度 重点目標取組内容	基準値(H27)	
①さまざまな教育の場における男女平等の促進	命を尊び、自他ともに認めあう人間形成のため、生と性のカリキュラムを小中学校において実施した。	0	0	決算(R2見込)	「生と性のカリキュラムー改訂版ー」を、小中学校で実施に向けた取り組みを行う。	15(校)	
具体的施策	男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる態度を育てる「性に関する指導」の充実を図ります。子育てへの関心や将来、親となる者としての意識の醸成を図ります。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	生と性のカリキュラムは、小中学校全校全学年で2時間計画されており、完全実施に向け取り組んでいる。全児童生徒に指導できるよう工夫されている。令和2年度に学習指導要領が改訂され、新たな教育的課題への取り組みが求められるとともに、授業時数(コマ数)の不足も懸念されているため、現在の完全実施校においても、検討が必要となる。		R3年度 実施予定事業	R2実績	R2
					「生と性のカリキュラムー改訂版ー」に基づく授業実践を推進する。R3年度は、各校の実状に応じた、教育的課題を整理して「生と性のカリキュラムの授業」の実施に向けた取り組みを行う。	R3目標	A
						最終目標値	R3
						25(校)	A

Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	R2年度実績						予算(R3)
	3 子どもにとっての男女共同参画	キャリア教育の中で、職場体験学習代替事業として各中学校で職業人による講演会や体験講座を実施した。(職場体験学習はコロナ禍のため全中学校が中止した)		0	基準値(H25)	9(校)		
	具体的施策	②学校教育の場からのキャリア教育の推進	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R2実績	0	男女共同参画の視点
		子どもたちが社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら自立して生きていくことができるよう、キャリア教育を推進していきます。		0		R3目標	R2	
		職場体験学習が実施できなくても、代替事業を行うことで、自己のキャリアを考えるよい機会となった。令和3年度も職場体験学習が実施できないことを想定してより充実した代替事業を企画しておく必要がある。				最終目標値	R3	
						9(校)	B	
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	1 安心して生活するための環境づくり	自立支援協議会の相談支援事業所連絡会において、相談業務における情報共有及び課題の整理等を行い、相談支援の質の向上を図り、適切なサービス提供に努める。	(障がい者) ◆福祉ガイドブックを1400部作成し、関係者へ配布した。 ◆事業所一覧を2500部作成し、関係者へ配布した。 ◆相談支援員を市内一般相談支援事業所4法人(6事業所)へ6人、3人、3人、2人の計14人配置した。		予算(R3)	必要な方に適切な支援を提供する。		
	具体的施策	①高齢者や障がい者の生活の安定・自立のための支援	R2年度 重点目標取組内容実績	0		R3年度 重点目標取組内容	基準値(H25)	男女共同参画の視点
		高齢者や障がい者が、介護保険制度や支援費制度によるサービスを円滑に利用できるような環境づくりに努め、高齢者や障がい者の生活の自立を支援します。	相談支援事業所連絡会を3回行い、相談業務における情報共有及び課題の整理等を行った。そのうち1回は事例検討会とし、相談における質の向上を図った。また、相談業務を委託している事業所による委託相談連絡会を10回開催し、地域課題などについての意見交換を行った。	決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	居宅介護236人、生活介護238人、就労継続支援131人	R2実績	R2
			引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。また、委託相談連絡会が相談分野以外の連絡会と連携できるように努める。	0	引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。	居宅介護334人、生活介護301人、就労継続支援358人	R3目標	B・D・F
						居宅介護255人、生活介護289人、就労継続支援362人	最終目標値	R3
						居宅介護271人、生活介護307人、就労継続支援385人	0(施設)	B・D・F
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	1 安心して生活するための環境づくり	地域密着型サービスを運営する事業者を公募し、補助金を交付する。	◆介護給付の適正化を図るために、ケアプランのチェックを実施し、利用者に対し給付費通知を送付した。(ケアプランチェック:10プラン、通知:4回、16,990通) ◆新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として介護施設に簡易陰圧装置等の設置に係る経費として補助金を交付した。(3施設、10,962千円)		予算(R3)	施設入所待機者の状況や保険料への影響を勘案し、実情に応じた施設の整備を進める。		
	具体的施策	①高齢者や障がい者の生活の安定・自立のための支援	R2年度 重点目標取組内容実績	0		R3年度 重点目標取組内容	基準値(H29)	男女共同参画の視点
		高齢者や障がい者が、介護保険制度や支援費制度によるサービスを円滑に利用できるような環境づくりに努め、高齢者や障がい者の生活の自立を支援します。	◆地域密着型サービスの認知症対応型通所介護の運営事業者の公募を実施したが、応募は無しであった。 ◆新型コロナウイルス感染症防止対策として、簡易陰圧装置等を設置した介護施設へ補助金を交付した。	決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	介護施設等感染防止対策助成事業:10,962千円	0(施設)	R2
			◆R3年度は第8次高齢者保健福祉計画に基づき、地域密着型サービスのうち認知症対応型共同生活介護の運営事業者の公募を実施する。 ◆R2年度はコロナ禍によりケアプランチェックを実施することができなかった。(R1:86プラン)事業所訪問により実施していたが、コロナ禍における新たな実施方法を検討する。		◆地域密着型サービスを運営する事業者の公募 ◆ケアプランのチェックと給付費通知の送付		R3目標	F
							最終目標値	R3
							1(施設)	F
							2(施設)	F

IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容実績 ◆ひとり親家庭相談の窓口について、広報やホームページ、子育てアプリなどで周知を図った。相談支援員のスキルの向上のための研修に積極的に参加させた。	◆ひとり親相談について、広報やホームページ、子育てアプリなどで周知を図った。 ひとり親相談件数:延べ965件	事業費	ひとり親家庭の生活支援や就業に関する相談窓口について、広報やホームページなどで周知を図り、面接相談やEメールによる相談体制を確立する。	母子・父子相談件数	子育て世代包括支援センター
	1 安心して生活するための環境づくり			予算(R3)			
	②ひとり親家庭の生活の安定・自立のための支援			ひとり親家庭等支援費:22,136			
	具体的施策 家庭児童相談、ひとり親家庭相談の充実、就労支援等を通じ、ひとり親家庭の自立を支援します。			R3年度 重点目標取組内容 広報やホームページなどで周知を図り、面接相談やEメールによる相談体制を維持するとともに、相談員のスキル向上に努め、適切な相談ができるようにする。			
		R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	R2実績	男女共同参画の視点	
			ひとり親家庭等支援費:20,046	ひとり親家庭の親子が自立に向けて取り組めるような支援について周知していく。	R3目標	R2	
					最終目標値	R3	
					1,100(件)	B・E	
					1,100(件)	B・E	
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆ひとり親家庭の自立支援や出産や育児を期に離職した女性に対する再就職支援のための講座を開催した。 ○就労支援講座 ・ママたちの井戸端会議In小牧市 勉強会 (全1回 4人受講)		(千円)	◆経済的に困難な状況にある女性を対象とした事業を開催し、自立のための手段となる機会を提供する。 ◆就労支援講座 2講座 ◆ママ・ジョブ・あいちの出張相談 ◆市役所よりひとり親家庭への送付物がある場合はチラシの同封依頼をする。 ◆多世代交流プラザで子育て世代包括支援センターと協働して活動を行う。	—	多世代交流プラザ
	1 安心して生活するための環境づくり			予算(R3)			
	②ひとり親家庭の生活の安定・自立のための支援			男女共同参画講座開催事業:4,405			
	具体的施策 家庭児童相談、ひとり親家庭相談の充実、就労支援等を通じ、ひとり親家庭の自立を支援します。	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)			
		◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎月更新)など、SNSを有効活用した。 ◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座・相談開催計画をたてることとする。 ◆ママ・ジョブ・あいちの出張相談は商工振興課と協働し市役所で開催した。市役所開催を引き続き行い、まなび創造館ではイベント時に重ねて行う。		男女共同参画講座開催事業:4,405	R2実績	男女共同参画の視点	
					R3目標	R2	
					最終目標値	R3	
					—	C	
					—	C	
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	◆コロナ禍の中、可能な範囲でボランティア養成講座を開催することで、会員の増強を図った。 ・手話ボランティア養成講座→コロナの影響により中止 ・音訳ボランティア養成講座→コロナの影響により中止 ・点訳ボランティア養成講座(全10回・参加者5名) ・要約筆記ボランティア養成講座→コロナの影響により中止 ・障がい者ガイドボランティア養成講座→コロナの影響により中止 ・こころのサポートボランティア養成講座→昨年度延期分を実施、参加者8名		(千円)	新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しながら各種講座の実施方法について検討し、ボランティア活動を行うきっかけづくりを行う。 通常の行事实施が困難な場合、その代替となる方法について検討する。	—	福祉総務課
	1 安心して生活するための環境づくり			予算(R3)			
	③地域における各種生活支援の充実			ボランティア活動等助成事業10,575千円			
	具体的施策 高齢者や障がい者等の日常的な生活課題を、地域でサポートしようとする意識づくりを進め、地域福祉の推進を図ります。	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)			
		コロナの影響により、一部を除きほとんどの講座の中止が余儀なくされた。コロナ禍、アフターコロナにおけるボランティア活動の方法について検討する必要がある。		ボランティア活動等助成事業10,560千円	R2実績	男女共同参画の視点	
					R3目標	R2	
					最終目標値	R3	
					—	B	
					—	B	

IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容実績 相談支援事業所連絡会を3回行い、相談業務における情報共有及び課題の整理等を行った。そのうち1回は事例検討会とし、相談における質の向上を図った。また、相談業務を委託している事業所による委託相談連絡会を10回開催し、地域課題などについての意見交換を行った。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。また、委託相談連絡会が相談分野以外の連絡会と連携できるように努める。	0	R3年度 実施予定事業 引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。	年間におけるひと月あたりの平均	障がい福祉課
	1 安心して生活するための環境づくり						
	③地域における各種生活支援の充実						
	具体的施策 高齢者や障がい者等の日常的な生活課題を、地域でサポートしようとする意識づくりを進め、地域福祉の推進を図ります。						
事業費	予算(R3)	決算(R2見込)	0	0	R3目標	R2	
					最終目標値	R3	
						基準値(H25) 居宅介護236人、生活介護238人、就労継続支援131人	男女共同参画の視点
						R2実績 居宅介護334人、生活介護301人、就労継続支援352人	
						0	B・D・F
						0	B・D・F
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容実績 外国人相談員やアンケートなどから見えてきた外国人市民が欲しい情報を収集し、男女共同参画の観点からも、生活情報誌などにより必要な情報を適宜提供するとともに、情報共有体制を強化した。	R2年度実績評価・R3年度の課題等 浮き彫りとなった課題の解決に向け、様々な取り組みを実施した。しかし、全ての課題を解決できるまでには至っていない。	多文化共生推進事業 15,770	R3年度 重点目標取組内容 前年度検討した対策を実行し、問題の解決を図る。各課で在籍している外国人相談員や通訳に日本語教室の情報や県からの通知など、必要な情報を適宜提供し、情報共有体制を強化する。	H29年度以降に検討した課題を解決した数	多文化共生推進室
	1 安心して生活するための環境づくり						
	④外国人女性やその家族が安心して生活できる環境づくり						
	具体的施策 外国人の方は、言葉の違いや文化・価値観の違い、地域における孤立等により、日本人よりも困難な状況に置かれている可能性があります。男女共同参画の観点からも、外国人の方を対象とした支援を進めていきます。						
事業費	予算(R3)	決算(R2見込)	多文化共生推進事業 15,837	0	R2実績	男女共同参画の視点	
					3(件)	R2	
					1(件)	B	
					1(件)	R3	
						0(件)	B
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	R2年度 重点目標取組内容実績 中止	R2年度実績評価・R3年度の課題等 新型コロナウイルスの影響による休校の長期化、人権擁護委員の対面活動休止、大規模イベントの中止により、小中学校、保育園の人権教室や、街頭での啓発活動などの対面の活動は全て中止した。R3年度は、密を避けた可能な運営方法を検討し、実施する予定である。	459	R3年度 重点目標取組内容 ・小学校2校、中学校1校、幼稚園保育園2園で人権教室を実施し、人権についての正しい認識を持ち、人権意識の高揚を図る。	人権教室の実施校数	市民安全課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策						
	①人権教育・啓発の充実						
	具体的施策 女性をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人等のさまざまな人権問題への正しい認識を育む啓発を行います。						
事業費	予算(R3)	決算(R2見込)	224	0.0%	R2実績	男女共同参画の視点	
					3校2園	R2	
					3校2園	F	
						3校2園	R3
						3校2園	F

IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績	事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課			
基本目標	施策の方向	実績	事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業 前年度と同様に実施していく。	数値目標	所管課			
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策						0	—	学校教育課
	①人権教育・啓発の充実						0	—	男女共同参画の視点
具体的施策	女性をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人等のさまざまな人権問題への正しい認識を育む啓発を行います。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R3目標	R2	B			
			0		最終目標値	R3			
					—	B			
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績	事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課			
基本目標	施策の方向	実績	事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業 ◆男女共同参画講座や情報事業において、人権や男女共同参画に関する学習する機会を設ける。 ◆男女共同参画講座 ・防災講座 ・法律講座など ◆パネル展を開催 ◆男女共同参画情報誌発行 ◆男女共同参画講演会 ・LGBTの基礎を学ぶなど ◆国際女性デー映画	数値目標	所管課			
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策						11,299	—	多世代交流プラザ
	①人権教育・啓発の充実						4,405	—	男女共同参画の視点
具体的施策	女性をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人等のさまざまな人権問題への正しい認識を育む啓発を行います。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R3目標	R2	A			
			14,925		最終目標値	R3			
			4,405		—	A			
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績	事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課			
基本目標	施策の方向	実績	事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業 ◆引き続き、男女共同参画講座において、情報の評価・分析をする能力の向上につながる学習をする機会を設ける。 ◆男女共同参画講座 ・時事ニュース講座 ◆中央図書館を利用し、図書・DVDを活用した学習機会の提供をする。	数値目標	所管課			
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策						4,405	—	多世代交流プラザ
	②メディア・リテラシー(メディアの情報を主体的に読み解く力)の向上						2,822	—	男女共同参画の視点
具体的施策	情報のもたらす影響力の大きさを知り、メディアの情報を客観的に評価・分析する力を養うための啓発活動を行うとともに、教育・学習機会を充実させます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	R3目標	R2	B			
			4,405		最終目標値	R3			
			3,154		—	B			

基本目標		実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課			
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	実績	事業費 (千円) 予算(R3) 社会福祉総務一般事業:200千円 決算(R2見込) 社会福祉総務一般事業:0千円	R2年度重点目標取組内容 DV等の被害者が安定した生活を送れるよう必要な保護を実施する。	数値目標設定なし ・相談体制の充実、ネットワークの構築という具体的施策に対し、数値での目標を立てることはそぐわないと判断するため。 ・相談件数や対応件数は少ないほど人権が侵害されていないと考えることもできるが、対応をすることで件数を減少させることには繋がらず、目標としてはそぐわないと判断するため。	福祉総務課			
	施策の方向			その他 R2年度事業実績 小牧市DV基本計画の策定にあたってのDV対策連絡会議及び実務者会議への参加と内容についての検討を行い、年度末の計画策定に至った。福祉総務課の窓口で相談を受け付け、保護の実施までに至らない場合に適切なつなぎ先への案内などを行った。支援措置の延長申請を受け付け更新した。 ・DV対象住宅等借上数 0件			R3年度重点目標取組内容 ドメスティックバイオレンス(DV)、ストーカー行為等に係る悩みごとの相談を福祉総務課窓口にて受け付け、相談の内容に応じて警察署、女性相談所等の連携を取り、新しい居住地の確保や加害者からの隔離、生活に必要な金銭の扶助等を実施する。		
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策			R2年度実績評価・R3年度の課題等 令和2年度、関係部署等と連携しDV被害者に対し必要な支援を行うことができた。今後は令和2年度末に策定した小牧市DV対策基本計画にのっとり情報共有の徹底と、円滑な連携体制をより進め、支援に対しより適かつ迅速な実施の促進を図る。			R3年度実施予定事業 引き続き、福祉総務課の窓口にて相談を受け、関連部署と連携し、必要な保護を実施する。		
具体的施策	③男女間における暴力の根絶 ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等さまざまな人権問題に関する悩み事相談の体制の充実を図ります。男女をとりまくさまざまな悩みごとを救済するため、関係機関によるネットワークを構築します。					男女共同参画の視点 R2 C R3 C			
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	実績	事業費 (千円) 予算(R3) 男女共同参画推進事業:11,299 決算(R2見込) 男女共同参画推進事業:14,925	R2年度事業実績 ◆女性のための悩みごと相談窓口において女性相談員を配置し、相談者にとって相談しやすい環境を整えた。 ◆女性相談事業 R2年度件数:763件(面接71件、電話687件、同行支援5件)〔内DV相談91件〕 ◆デートDV手帳「私がわたしであるために」を印刷し、市内高校生1,030人に配布した。 ◆女性相談カードを市内各施設及び協力企業の女性トイレなどに設置 ◆安心して暮らせるDVのない社会の実現に向けて、本市のDV対策の取組みの方向を示し、被害者からの暴力に係る通報、相談、保護、被害者の自立支援、関係機関や庁内組織の役割の明確化、連携方法について取りまとめた小牧市DV基本計画を策定した。	数値目標 女性相談を知っている女性の割合 基準値(H25) 52.1(%) H29実績 47.0(%) R3目標 60.0(%) 最終目標値 60.0(%)	多世代交流プラザ			
	施策の方向			R2年度実績評価・R3年度の課題等 ◆小牧市DV基本計画は今後、計画の推進にあたり、各年度において計画に基づく施策の実施状況を把握・点検し、その結果をその後の対策の実施や計画の見直し等に反映していく。また、さらなるスムーズな対応は必要であり、安心して相談できる体制づくりのため、今後、専門知識を持った窓口の一本化について検討していく。			R3年度実施予定事業 ◆引き続き、相談窓口を開設する。 ◆引き続き、相談窓口についての周知を図るため、より多くの市内の施設等に相談窓口の案内を設置してもらうよう働きかける。 ◆DV対策連絡会議を開催し、小牧市DV基本計画施策の実施状況を把握・点検し、その結果を反映する。また、安心して相談できる体制づくりのため、専門知識を持った窓口の一本化について検討する。		
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策								
具体的施策	③男女間における暴力の根絶 ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等さまざまな人権問題に関する悩み事相談の体制の充実を図ります。男女をとりまくさまざまな悩みごとを救済するため、関係機関によるネットワークを構築します。					男女共同参画の視点 R2 E R3 E			
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	実績			数値目標 女性相談でDV相談が受けられると知っている女性の割合 基準値(H25) 69.7(%) H29実績 69.4(%) R3目標 77.0(%) 最終目標値 77.0(%)	多世代交流プラザ			
	施策の方向								
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策								
具体的施策	③男女間における暴力の根絶 ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等さまざまな人権問題に関する悩み事相談の体制の充実を図ります。男女をとりまくさまざまな悩みごとを救済するため、関係機関によるネットワークを構築します。					男女共同参画の視点			

IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策		人権啓発のための展示 12月4日～10日 人権パネル展(まなび創造館センターモール) 3月15日～19日 「第48回人権を理解する作品コンクール」(名古屋法務局主催)の入賞作品のうち、小牧市選出分の展示(市役所1階展示スペース)					
	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止		R2年度実績評価・R3年度の課題等		459			
	具体的施策 セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。		新型コロナウイルスの影響による休校の長期化、人権擁護委員の対面活動休止、大規模イベントの中止により、小中学校、保育園の人権教室や、街頭での啓発活動などの対面の活動は全て中止した。R3年度は、密を避けた可能な運営方法を検討し、実施する予定である。					
基準値	—	R2実績	—	男女共同参画の視点				
R3目標	—	R2	F					
最終目標値	—	R3	F					
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策		◆児童に関わる機関により構成する要保護児童対策地域協議会を設置しており、R2年度は「児童虐待対策基本計画」を策定したため、年3回の代表者会議を開催した。 毎月1回の実務者会議を開催し、要保護児童等についての情報共有を図り、相談・支援について検討をした。					
	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止		R2年度実績評価・R3年度の課題等		家庭児童相談事業 1,498			
	具体的施策 セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。		◆代表者会議:計3回開催 ◆実務者会議:計12回開催 <R2年度実績> 家庭児童相談件数:566件(実数) 実務者会議におけるケース件数:1,473件(実数)					
基準値	—	R2実績	—	男女共同参画の視点				
R3目標	—	R2	F					
最終目標値	—	R3	F					
IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績		事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策		◆デートDV手帳「私がわたしであるために」を印刷し、市内高校生1,030人に配布した。 ◆女性相談カードを市内各施設及び協力企業の女性トイレなどに設置依頼。 ◆「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、パネル展を開催することで、DVに関する知識を深めるとともに、周知活動及び情報提供を行った。(11月) ・DV防止週間パネル展(11月)					
	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止		R2年度実績評価・R3年度の課題等		男女共同参画推進事業: 11,299			
	具体的施策 セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。		◆デートDV手帳内容を男女ともに啓発する内容に見直した。 ◆広報やチラシによる周知だけでなく、ホームページやフェイスブック(6月は毎月更新)など、SNSを有効活用する。 ◆デートDV手帳の配布は女子高校生に限らず、男女に配布する。					
基準値	—	R2実績	—	男女共同参画の視点				
R3目標	—	R2	A					
最終目標値	—	R3	A					

基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	R2年度事業実績	事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	R2年度事業実績	事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援	◆子宮がん検診 対象者61,618人(令和2年4月1日時点の人口) (厚生労働省の指示により、平成28年度分から20歳以上の女性の人口が分母に変更となりました。)	(千円)	実施期間 個別検診:令和3年6月1日～令和4年3月31日 実施回数 集団検診:3回/年	子宮がん検診 (集団・個別) 受診率	保健センター
基本目標	①年齢に伴い変化する生活環境・ 身体状況に応じた健康づくりのための支援	実績	予算(R3)	成人保健 健康診査 事業: 256,925	基準値(H25)	男女共同参画 の視点
	健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	成人保健 健康診査 事業: 215,764	8.6(%)	
					R2実績	
					3.4	
					R3目標	R2
					3.5	C
					最終目標値	R3
					13.0(%)	C
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	R2年度事業実績	事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援	◆乳がん検診(マンモグラフィ) 対象者45,149人(令和2年4月1日時点の人口) (厚生労働省の指示により、平成28年度分から40歳以上の女性の人口が分母に変更となりました。)	(千円)	実施期間 個別検診:令和3年6月1日～令和4年3月31日 実施回数 集団検診:9回/年	乳がん検診 (集団)受診率	保健センター
基本目標	①年齢に伴い変化する生活環境・ 身体状況に応じた健康づくりのための支援	実績	予算(R3)	成人保健 健康診査 事業: 256,925	基準値(H25)	男女共同参画 の視点
	健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	成人保健 健康診査 事業: 215,764	10.3(%)	
					R2実績	
					3.8	
					R3目標	R2
					3.9	C
					最終目標値	R3
					15.0(%)	C
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	R2年度事業実績	事業費	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援	◆市民が運動を始めるきっかけ作りとして、スポーツ教室や健康セミナー等を実施した。 ・デーテニス(週17クラス開講)・親子テニス(6期 61組受講) ・子ども対象(6期 111人受講) ・一般対象(4期 50人受講)・スポットレッスン(7回 156人受講) ・健康セミナー(1回 31人受講)	(千円)	◆引き続き、ニーズに合わせたスポーツ教室等を実施し、運動する機会の充実を目指す。 ◆受講者等に男女共同参画講座等のチラシを配布し男女共同参画推進を図る。 ◆平日午後、土曜は子ども向けのイベントを行うなど、多世代で心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の充実に努める。	—	多世代交流プラザ
基本目標	①年齢に伴い変化する生活環境・ 身体状況に応じた健康づくりのための支援	実績	予算(R3)	スポーツセンター 運営事業: 56,010	基準値	男女共同参画 の視点
	健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等	決算(R2見込)	スポーツセンター 運営事業: 66,730	—	
					R2実績	
					—	
					R3目標	R2
					—	B
					最終目標値	R3
					—	B

基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課				
	基本目標	施策の方向		実績 各種スポーツ教室を開催します。	各種スポーツ振興事業及びスポーツ教室等の実施 ・親子ふれあい体操教室 (I期中止、II・III期 各8回 IV期 3回 57組受講) ・小牧市シルバースポーツ学級[男性 17名 女性 20名](10回 37名受講) ・ノルディックウォーク講習会 中止 ・アクアビクスを含む水泳教室[男性 222名 女性 585名](I・II期中止、III・IV期 計257回 807名受講) ・レクリエーションスポーツ普及・振興事業(体協事業) (12校区 1,565人)	生涯スポーツ推進事業 1,475 体育施設管理委託事業 11,366	男女ともに参加できるスポーツ教室などを実施することで、より多くの市民がスポーツに親しめるようにする。	各教室の参加人数	文化・スポーツ課			
3		生涯を通じた健康づくりのための支援	R2年度 重点目標取組内容実績 各種スポーツ教室を開催します。				R3年度 重点目標取組内容 各種スポーツ教室を開催します。	基準値(H29)		4,184人		
具体的施策		①年齢に伴い変化する生活環境・身体状況に応じた健康づくりのための支援 健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。	R2年度実績評価・R3年度の課題等				R3年度 実施予定事業	R2実績		2,469人	男女共同参画の視点	
			講座によって参加者の男女比率に差があるため、内容を精査し、周知の方法などを見直す必要がある。				スポーツ振興事業及びスポーツ教室開催事業を実施する。	R3目標			R2	
								最終目標値		1%増	R3	
										B・F		
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度事業実績		事業費 (千円)	R3年度 実施予定事業	数値目標	所管課				
	施策の方向		◆母子保健推進協議会3回(年間4回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回中止とした。) ◆自己肯定感獲得動画を市ホームページで配信 ◆自己肯定感を獲得するための出前講座:1回 ◆小牧市内の中学1年生に安心相談カードを配布 ◆生と性に関するカリキュラムを実施(再掲)		母子保健: 154 生と性育み推進: 445	◆母子保健推進協議会4回 ◆自己肯定感DVDを市HP上で動画配信 ◆自己肯定感を獲得するための出前講座の周知 ◆市内の中学1年生と高校1年生に「安心相談カード」を配布 ◆生と性に関するカリキュラムを実施(再掲)	自分自身を好きと言える市民の割合	保健センター				
	3	生涯を通じた健康づくりのための支援	R2年度実績評価・R3年度の課題等				決算(R2見込)		基準値(H25)	76.7(%)		
	具体的施策	②女性の身体への自己決定権の尊重 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)の理念について啓発し、周知を進めることで、妊娠/出産等に関する女性の自己決定権を尊重する意識の浸透を図ります。	引き続き生と性のカリキュラムを推進し、大人においても自己肯定感を育めるよう出前講座などの案内を図っていきます。				母子保健: 138,600 生と性育み推進: 397,980		R2実績	80(%)	男女共同参画の視点	
									R3目標	80(%)	R2	
									最終目標値	80.0(%)	R3	
							A					
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり		R2年度 重点目標取組内容	その他 R2年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課				
	施策の方向		実績 —	平成30年度に患者支援センターを新設し、患者相談の窓口を一元化に伴い女性専用相談室を廃止した。患者支援センターには、多くの女性スタッフを配置し、女性患者にも配慮した相談体制を確保している。	—	—	—	市民病院				
	3	生涯を通じた健康づくりのための支援				R3年度 重点目標取組内容	基準値		—			
	具体的施策	③性差医療(男女の性差を考慮した医療)の充実 女性専用相談室において女性が相談しやすい環境づくりに努めます。				R2年度 重点目標取組内容実績	R2年度実績評価・R3年度の課題等		決算(R2見込)	R3年度 実施予定事業	R2実績	男女共同参画の視点
							ハーモニーⅢの取組みとしては終了しているが、基本目標の内容を常に意識し、今後も継続実施できるよう努める。				R3目標	R2
											最終目標値	—
											—	